

新緑の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

ここしばらくは、新型コロナウイルスの感染防止にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。また、ご家族さまの面会を制限させていただいており、心苦しいところではございます。一刻も早い終息を願っております。

1年前のゴールデンウィークは令和元年のお祝いムードがずいぶんと前のことのように感じます。今年は感染予防のために外出自粛ムードで我慢の一週間となりました。ホームでは利用者さまの健康維持のためにも、職員一同、感染予防を徹底しつつ日々の業務に励んでおり、今できることを確実に行ってまいります。

## 新型コロナウイルス感染症対策〈特養・短期入所〉

この度の面会ができない状況を受け、堺市よりテレビ電話の対応が可能なタブレットの貸し出しがありました。

ご利用者をご家族をつなぐツールとして活用できる環境を整えております。

下記の条件によりご家族さまからの申し出に対応してまいります。

- ① 事前に利用希望（アプリ・時間帯）を申し出ください（予約制です）  
〈対応アプリ〉 LINE、Skype、Duo
- ② 対応可能な時間帯は9時30分から11時と14時30分から16時までです。  
（事情により対応が困難な場合は個別にご相談させていただきます）
- ③ 1回あたりのテレビ電話通話時間は5分程度となります。
- ④ 自宅に通信環境がない方は来園していただき、事務所前とフロアでテレビ電話が可能となります。
- ⑤ この対応は面会制限の解除又は8月までの限定的な対応となりますので、ご了承ください。

LINEでのテレビ電話をご希望の方は友だち登録をしてください。

2階のLINEアカウント

3階のLINEアカウント



※緊急事態宣言の延長を受けての面会制限を継続しております。

もうしばらく感染予防対応にご理解とご協力をお願いいたします。



3月3日、テイサービスでひな祭り企画をしました。  
職員によるリコーダー演奏とひな祭りの由来のお話、  
最後は雛あられと甘酒をいただきました。  
演奏に向け担当職員は30年ぶりにリコーダーを手に取り、  
時間の許す限り練習に明け暮れました。  
当日の演奏は無事に成功し、ホッと胸をなでおろしたのは束の間、  
違う曜日でも披露してほしいとの要望があり、再度緊張の中演奏をしました。  
ご利用者様にはとても好評で、演奏した職員も満足しました。



ひなまつり



手作りマスク作成♪

感染予防



# 入浴企画🔥

★3月26、27、28日と入浴企画「視覚・嗅覚で春を感じていただく!」を行ないました。

湯船に春の造花を浮かべて、柚子の上がい湯を味わって頂きました。  
皆さん「綺麗やわあ〜」「いい香りやわあ〜」と口々に喜ばれていました。

次回開催への意気込みが沸いています。

コロナ対策の為、自粛生活で気分が落ち込み気味な今こそ、  
明るい気持ちで利用者様と過ごしたいと日々思っています。

企画で余った備品は「足浴時に使用」と「フロアに掲示」し余す事無く有効活用しています。

何時の日か自粛が解除になりましたら、是非フロアまで見に来て下さい。



# フロア企画

毎月行なっております誕生日会を、3月にも行いました。

今月お誕生日を迎える方々をおやつと共に、御祝いしました。

ハッピーバースデーソングを皆で歌います。

「おめでとう」「ありがとう」の利用者様同士のやり取りを見かけ、

とても幸せな気持ちになります。

プレゼントは「何が喜んでくれるだろう?何が役立つだろう?」

と毎回職員が悩んでいます。

ですが、プレゼントを見た時の利用者様の笑顔を見たら、

そんな事が全て吹き飛びます。

又、来月の誕生日会をどうしようか?何を企画しようか?

とワクワクが沸いて来ます。



# 新人紹介コーナー

令和2年度4月より常勤職員として働いて頂いている

ふるむら かや  
【古村佳也】さんをご紹介します。

- Q. 4月から常勤職員となりましたが、入職はいつですか？  
A. 令和元年の10月に入職しました。
- Q. 前職も介護職との事ですが、何年ほど介護職をされていますか？  
A. 看護助手も入れると10年ほどです。
- Q. ちなみに、介護職をされる前はこういった職業だったのですか？  
A. 清掃会社に勤めていました。
- Q. 介護職に転職したきっかけは？  
A. 高齢化社会に向けて、何か出来たらと思い、介護職を選択しました。
- Q. ふれ愛の家に入職されてから、どうですか？  
A. 特養に勤めたのが初めてなので、今までとはまた違った経験が出来ています。
- Q. 最後にふれ愛の家で働くにあたって、自分の中で大切にしたい事は？  
A. 利用者様の立場になり、目線を合わせて介助するというのを大切にしたいです。

インタビューにお答えいただきました古村さん。

ご協力ありがとうございます。

これからも利用者様の気持ちに寄り添った介護を大事に  
頑張ってください。

